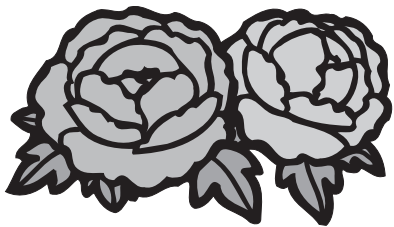


# よしかわ通信

E-mail info@douryu.net



りん どう  
凛 道



発行

高萩市議会議員

よし かわ どう りゅう  
吉川道隆

高萩市安良川686  
TEL 0293-24-0833  
FAX 0293-22-3340

薫風の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素はひとかたならぬ御指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成20年4月より、市長による市政懇談会が各地で行われておりますが、予想以上の反響で、多くの市民の方々にご参加いただいているようです。少しでも高萩市の財政の現状を理解していただき、ご協力をいただければと思っております。行財政改革特別委員会において、まずは政務調査費と費用弁償の半減などを実現致しました。

一方で、少子化に伴い、高萩市における就学前児童の教育の在り方について見直さなければならぬと感じております。財政は厳しくてもこれからの社会を担う子供たちの教育については力を抜くことなく、検討していきたいと思っております。

今後とも、私なりに最善の努力を尽くしてまいります。皆様方の御理解と今後の御協力および、御意見、御指導、御要望をよろしくお願い申し上げます。

平成20年3月議会

一

般

質

問

## 行財政改革について

**質問** 市政懇談会において、「税金をきちんと払っている者は馬鹿を見る！99.9999%徴収しろ！」という意見があったが、税金滞納に対し、市民サービスが低下しているなか、徴収するものは確実に徴収したうえで、様々な負担をお願いしないと申し訳が立たない。全職員一丸となって危機的状況の回復に真剣に取り組んでほしい。徴収体制についてどうか？

**市長答弁**▶ 2月に特別滞納整理月間として全職員による積極的な滞納整理を実施し、滞納額約1,362万円のうち、約517万円徴収した。今後も全庁的な滞納整理を実施していく。

**質問** 前回質問したふるさと基金について取り組みは怎么样了？自然を守るというだけでなく、高齢者福祉や教育に充てるというところもある。どれだけ入るかわからないが、歳入の一つの手段として取り組んでほしい。

**市長答弁**▶ 本市にふさわしい寄附、基金のあり方について現在検討中。

**質問** 公社を解散して市が全額負担し、財政健全化を図ることは、市の財政に対し一番の取組みである。負担額が、土地開発公社、約27億円、住宅公社約50億円、合計で約77億円。この計画通りに進めば、23年度までに**単年度収支が黒字化できる**というのは本当に実現できる自信があるか？てづな団地が、「協同病院が出来れば分譲が進んで完売する」という計画があったが、これと同様に夢のような計画に終わってしまうのではないか？

**市長答弁**▶ 黒字化できるよう頑張っていく。グリーントウンについては、あら造成のまま住宅メーカーに一括売却等も検討している。

**質問** 君田地区の教育環境について、児童数が今後更に減ると、学校の一つの目的である、集団生活を経験することができず、児童の社会性、協調性を養うことができないのではないか？人数が少ないと、学校でドッチボールもサッカーも野球も何にもできない。いろいろな人の意見を聞くこともできない。ひとりでは話し合いにならない、人と協力してということがわからないまま大きくなって高校で突然大勢の中へ入らなければならない。慣れなくて不登校になりかねない、小さい時から積み重ねていかなければいけないことがあるはず。地域の方は、今の小中学校を存続させたいと思うのもわかるが、財政面、教育面を考え合わせ、検討すべきではないか？

**教育長答弁**▶ 君田地区の学校の経費としては**一人当たり約8倍かかっている**が、経費だけでなく人数が少ないことで丁寧に見れるという学力面でのメリットもある。

## 就学前児童の教育について

**質問** 高萩市立幼稚園の定員割れが一部見られる。第一幼稚園に関して言えば、以前は4歳児募集に関しては定員オーバーにより、抽選が行われていたが、この1～2年は、定員に満たないため抽選なし、しかも通常5歳児クラスでは2クラスになるところを人数が少ないためクラス編成が出来ず、1クラスのままという状況が、市内全域のものか？

**教育長答弁▶** 公立幼稚園については**市内全体の定員280名**のところ平成19年度は**258名**が入園、平成20年度は**208名**が入園の予定。

**質問** 高萩保育所の民営化について、児童数が少なく保育料の滞納が多いので、民営化によってサービスの向上を図り、財政負担を軽減することについて再度意見を伺いたい。民間が必ずしも悪いわけではない、最初の契約が大切。高萩保育所は、場所もいいし、環境的にはとてもいい。なぜ、定員割れするのか？それだけ、魅力がないということ。市からの補助があるので、**民間でも公立でも保育料は同じだから**、保育所のサービスが問題なのではないか？公立が悪いのではなく、今までのやり方しかできないなら、民営化したほうがいいと思うがどうなのか？

**市長答弁▶** 公立保育所及び幼稚園のあり方について検討会を立ち上げ、就学前児童の教育や保育環境、子育て支援のあり方について検討している。

**質問** バスで送迎、3年保育、延長保育、スイミング、英会話の取り組みなどの特色がある市外の私立幼稚園に入園しているようだ。このままでは、市内に子どもがいるのにも関わらず、市内幼稚園がガラガラになってしまうのではないか!? **バスで送迎、スイミングなどは無理でも、3年保育の実施は考えられないか？**高萩市としても予算のない時期だが、これからの社会をになう子供たちの教育のために、考えていただきたい。

幼保一元化ということで、日立市のキリスト教大学附属幼稚園では、茨城県で初めて認定子ども園の認可をとった。

**定員割れしている高萩保育所と第一幼稚園の一元化も考えてみては？**

**教育長答弁▶** 高萩市の幼児教育については、優れており、内容については、決して差があるとは思えない。3年保育については人員の配置、施設の問題も考慮しながら検討していく。

### 吉川の 考察▶

最近、市政懇談会の中や、一部新聞折り込みなどで、行政視察がまるで無駄遣いのように言われていますが、そもそも「行政視察」とは、市を良くするために、他の見習うべき自治体のやり方を実際に目で見て聞いてくる研修です。実際、昨年行った、北海道の根室市などは、**市税の徴収率を約15%以上もアップさせ、約99%まで達した**という実績があり、なぜそこまで徴収率をあげることができるのかという話は、非常に参考になりました。一昨年徳島県小松島市では、独自の滞納整理マニュアルを作成し、他の県や市町村が勉強しにいくほどの素晴らしいマニュアルと徴収体制を研修させていただきました。

それによって高萩市でも、徴収方法を検討し、徴収率アップにつながっています。ただの旅行に行っているわけではありません。外に目を向けることは大切なことです。自分の町にこもってはいけません。「井戸の中の蛙」になってしまいます。そういうことから、行政視察そのものを全く無くすわけにはいかないと考えております。市民の皆様にもご理解していただければと思います。ただ、今は高萩市の財政が厳しいので、回数を減らし、2年に1度にするなど検討すべきではないかと思っております。

学校の統廃合の問題では、4月20日の新聞報道によると、県内でもやはり一学年一学級というところが増え、県教委市町村教育推進室が夏ごろまでに適正配置の指針を作り、統廃合を促す方針だそうです。クラス替えもできないから、人間関係が固定化したり、グループ学習がやりにくいなどの教育効果の低下が懸念されています。君田小中学校については、この指針により方向性を考えていくことになるでしょう。地域の象徴であり、無くしたくない気持ちはわかりますが、実際にそこで学び、成長していく子供たちにとって、一番いい方法は何かということを考えてあげなければならないと思っております。